国立国語研究所学術情報リポジトリ

A study of verbs and suppositions from 2;0 to 3;5

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2017-03-31 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 大久保, 愛, OKUBO, Ai メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.15084/00001079

動詞とその下接語の発達の実態
——一男児の2歳から3歳前半まで——

大久保　愛

1.　はじめに

この調査は，言語教育研究部第一研究室のテーマ「幼児・児童の認知発達と語の意味の習得に関する調査研究」の一部，「幼児の言語及び学習行動の観察」についての研究として，昭和50年4月から昭和53年3月まで行った一男児の言語の追跡調査の結果として刊行された『幼児のことば資料1』(昭和56年)，『幼児のことば資料4』(昭和57年) 及び，『幼児のことば資料5』(昭和58年) を用いて，動詞とその下接語を分析研究したものである。

『幼児のことば資料』(以下『資料』と呼ぶ) は，母親に依頼して，母とのかかわりの中での幼児の生のことばを録音文字化したものであるが，そのうち『資料1』は，満2歳と満3歳時の「一日調査」であり，ここでは満3歳のものを使用した (『資料5』の3歳と区別して((3；0)) と年月齢を二重かっこに入れて示した)。『資料4』は，2歳期，『資料5』は，3歳から3歳5か月末まで (3歳前半と呼ぶ) で，1か月に毎回随時，計2時間の録音である。2歳6か月は例外で，「一日調査」のくずれたもので，一日調査のうち2時間分を『資料4』に入れたが，『資料』外もここでは用いた。この一男児 (T児と仮称) は，昭和49年3月3日生れの第一子である。

2.　動詞使用の実態

T児がこの間に使用した動詞を別表としてあげる。使用動詞は終止形であらわし，五十音順に並べ，年月齢欄に出現の状況を○で示し (●は初出)，2歳期間の使用数 (((3；0)) はここに含めた) 及び3歳前半の使用数を，それぞれの動詞に記入した。も＝模倣　あ＝文意あいまい　よ＝読みもの　疑

表 1　初出動詞，使用動詞の数

年月齢＼使用数	初出動詞	使用動詞
2；0	18	18
2；1	18	33
2；2	34	56
2；3	11	40
2；4	15	46
2；5	9	46
2；6	39	106
2；7	26	98
2；8	30	116
2；9	7	64
2；10	17	107
2；11	11	91
《3；0》	34	166
3；0	5	85
3；1	6	85
3；2	11	81
3；3	8	79
3；4	10	90
3；5	16	92

＝質問　これらも一応数に入れた。別表（章末）から言えることを述べる。

(1)　2歳期初出の動詞は269語で，3歳前半の初出語は56語である。計325語

(2)　年月齢による初出動詞及び使用動詞の数の傾向をみると，表1のようで，初出は，2歳6が一番多く，ついで2歳2と3歳誕生日，2歳8，2歳7の順である。使用動詞の数をみると，3歳誕生日，2歳6を除くと，2歳8，ついで2歳10，2歳7，3歳5，2歳11，3歳4の順となっていて，2歳7，8から動詞文をよく使うようになることがわかる。

(3)　T児がこの期間に40回以上使用し，その上，どの年月齢でもほぼ使用している動詞36語を初出年月齢とともにあげると表2のようである（月齢内は高使用順）。

表2　高使用の動詞

2；0	する　行く*　ある*　食べる　買う　乗る*　居る*　いれる　来る*　要る　取る*　飲む　でる　ねる
2；1	見る　もつ　書く　つける　ちがう　だす
2；2	言う　やる(する)　なる　読む　知る　はいる　あける　つく　こわれる　遊ぶ　見える
2；3	掛ける
2；4	教える　できる　つくる　動く

なお，他の調査[1]による上位30語と重なっている語には下線を引き（19

語)，T児が2歳前に使用している動詞[2]には*をつけた（6語)。

ものを行う「する」「行く」「取る」「持つ」「来る」「やる（「する」の意)」「掛ける」「動く」，出入りの「いれる」「でる」「だす」「はいる」，知的行為の「見る」「書く」「言う」「読む」「知る」「教える」「できる」「つくる」，それに存在をあらわす「ある」「居る」と，生活必要語の「食べる」「飲む」「ねる」などに加えて，「買う」「乗る」「遊ぶ」などをよく使用していることがわかる。

(4) 人は動作を，動詞のみであらわす場合と，動詞に補助動詞や助動詞を下接して動作の意味を詳細に表現する場合がある。それについては3節以下に述べるが，動詞の中でも可能や自発を表現する場合に五段活用を下一段活用として用いるここでいう可能動詞による表現がある。その他，使役動詞とでも称するものもある。また，敬語動詞，複合動詞，サ変複合動詞が見られる。これら動詞は，一般動詞（仮称）より遅れて初出する。

①可能動詞を一般動詞と比較してみると表3のようである。これら動詞は終止形として初出しているとは限らないが，ここでは終止形になおしてあげておいた。◈＝可能動詞の初出がはやいか同じ　×＝使用数が一方より多い　下線＝高使用語40回以上の語

表 3　一般動詞と可能動詞の初出年月齢

動　詞(一般)	年 月 齢	可 能 動 詞	年 月 齢
あ(開)く	2；1	あ(開)ける×	2；2
あったまる×	((3；0))	あっためる	3；5
歩く×	2；2	歩ける	((3；0))
言う×	2；2	言える	2；3
行く×	2；0	行ける	2；2
動く×	2；4	動ける	3；1
押す×	2；1	押さえる	2；10
折る	2；1	◈折れる×	2；1
切る×	2；0	切れる	3；5
書く×	2；1	書ける	2；11
買う×	2；0	買える	3；1
噛む×	2；7	かめる	3；1

動　詞(一般)	年 月 齢	可 能 動 詞	年 月 齢
聞く×	2；6	◆聞こえる	2；2
くっつく×	2；2	くっつける	2；8
立つ×	2；4	たてる	((3；0))
つくる×	2；4	つくれる	3；4
付く	2；2	◆つける	2；1
とおる×	2；2	とおれる	3；0
どく×	2；7	◆どける	2；6
とぶ×	2；2	とべる	((3；0))
取る×	2；0	◆とれる	2；0
とまる×	2；2	とめる	2；7
ならぶ	2；4	ならべる	2；6
成る×	2；2	成れる	3；0
ぬぐ×	2；1	ぬげる	2；6
乗る×	2；0	乗れる	2；10
はいる×	2；2	はいれる	3；2
はかる×	2；10	はかれる	3；4
はく×	2；3	はける	2；6
はこぶ×	2；6	はこべる	3；5
まちがう	3；3	◆まちがえる×	2；8
みつかる	2；7	みつける	3；4
見る×	2；1	みえる	2；2
向く×	((3；0))	向ける	3；4
焼く×	2；2	焼ける	2；8
やぶる	2；7	◆やぶれる×	2；6
よむ×	2；2	よめる	2；6

②使役動詞と称するものには表4のようなものがある。これも①と同様に一般動詞や可能動詞と対になっているものをあげておく。

表 4　一般動詞と使役動詞の初出年月齢

動詞(一般)	年月齢	使役動詞	年月齢	可能動詞	年月齢
動く	2；4	動かす	2；11		
落ちる×	2；1	落っことす	2；3		
		落とす	2；6		
着る×	2；2	着せる	3；0		
		こぼす×	2；6	こぼれる	2；8

動詞(一般)	年月齢	使役動詞	年月齢	可能動詞	年月齢
		こわす	2；2	こわれる×	2；2
		たおす	2；8	たおれる×	2；8
		つぶす	3；0	つぶれる×	2；8
出る×	2；0	出す	2；1	出せる	3；0
なくなる×	2；3	なくす	2；8		
鳴る×	3；3	鳴らす	2；6		
ねる×	2；0	ねかす	2；6		
のむ×	2；0	のます	3；5		
乗る×	2；0	乗せる	2；5	乗れる	2；6
はく×	2；3	はかす	2；6	はける	2；6
		はずす	2；6	はずれる×	2；4
まわる×	2；3	まわす	2；9		
見る×	2；1	見せる	2；2	みえる	2；2
もどる×	2；5	もどす	2；9		

③その他，敬語動詞には「いたす ((3；0))」「ござる ((3；0))」「くださる (3；1)」が初出しているが，おそい。複合動詞もおくれる。初出順にあげると次のようである。「のみこむ (2；6)」，「こしかける」「とびおりる」「もちあげる」(以上 2；7)，「とりかえる」「のみすぎる」(以上 2；8)，「食べすぎる」「とりあげる」「とりかえる」「ひっ込む」(以上 2；10)，「ぶらさげる ((3；0))」「ひっかく (3；0)」，「追いかける (3；3)」「ひっつける (3；5)」と，2歳後半から初出する。

サ変複合動詞としては「修理する (2；8)」「分解する (3；1)」を使用している。

やりもらい動詞では「もらう (2；2)」「あげる (2；4)」「くれる (3；5)」の順に使用している。

関連のある動詞間の初出を見ると，「行く (2；0)」；「来る (2；0)」，「書く (2；1)」；「読む (2；2)」，「買う (2；0)」；「売る (2；6)」，「ねる (2；0」；「起きる (2；4)」，「入れる (2；0)」「はいる (2；2)」；「出る (2；0」「出す (2；1)」，「おりる (2；2)」；「あがる」(2；5)」，「教える (2；4)」；「習う (3；3)」というふうで，初出が同月齢の場合もあり，離れている

場合もある。子どもは椅子や机にひとりでよじのぼるが降りるのはこわい。それができたうれしさが「オリタ」と早く使わせ，「ウッテル」とか「ナライニイク」などの状況説明より，「カッテ」とか「オシエテネ」と母にねだるほうが要求がかなうので，初出に差が出るのだろうか。

3. 動詞の下接語について

この部分は，国立国語研究所報告55『幼児語の形態論的な分析——動詞，形容詞，述語名詞——』（高橋太郎担当，以後『幼形態』と仮称する）を参照して，2節にあげた動詞を分析したものである。この書では次のように述べてある。（3p～8p を要約的に引用）

「この研究は，3～6歳の幼児が会話のなかで使用した動詞，形容詞ならびに述語につかわれた名詞について，形態論の面から分析したものである。資料は大久保愛が東京都内の幼稚園，保育園において，計約300人の子どもにひとりずつあたって，一定の話題についてたずねた録音資料による。（大久保愛担当　国研報告50『幼児の文構造の発達』という，同じ資料による文論的分析の報告もある。）

従来からも幼児のはなしことばの文法的分析はあった。しかし，それらはおおむね学校文法のわく内にとどまり，品詞別，あるいは，助詞・助動詞の初出状況をしらべるていどであった。この研究では，幼児の使用した動詞・形容詞・述語名詞などを，その形態論的なシステムのなかでとらえ，また，かなり精密にしらべた。

この研究の目的は，はじめ，幼児の文法能力の発達過程をみることにあった。われわれのはじめの予想では，3歳～4歳～5歳と年をかさねるごとに，こどもは文法能力を発達させていく，したがって，資料をあつめれば各年齢間の差ももとめることができるはずであった。ところが実際にしらべてみると，形態論的な事項は，その基本的なものが年少児（3～4歳）にすでにだいたい身につけられていることがわかった。もちろん個人差があって，年少児のすべてがそうであるわけではないが，今回の方法では，最初に意図した発達の過程はもとめられなかった。これをとらえるためには，1.5歳から4歳にいたる個人の言語習得過程をおわなければならないだろう。もしそのようにして採集された言語資料が，本書のような方法で分析されるならば，すくなくとも，形態論の範囲のなかでは，子どもによって，文法形式のどのような部分からどのような過程で習得されていくかがとらえられるだろう。そのような研究を期待して，本書では，今回の資料にあらわれなかった形式や用法についても，必要に応じてかきそえておいた。

この研究では，動詞・形容詞・名詞などから助動詞や助詞をきりはなさずそれら

表 5　動詞の活用

〔注〕○＝1回以上　◎＝10回以上　⊚＝20回以上　△＝30回以上使用の語があるの意　ふ＝ふつう形　て＝ていねい形　否＝否定形　あ＝あいまい

活用形／年月齢	終止形								修飾形				意志形			命令形		依頼形					中止形	接続形													願望形	副詞形		仮定・条件形										ゆずり形				推量形								断定形				名詞形		結合形								
	ふつう				ていねい				ふつう		否定		ふつう		ていねい	ふつう	ていねい		ていねい			否		ふつう								て		否定						ふつう					否定				て	ふ		否																								
	ふ		否		ふ		否																																																																				
		タ	ナイ	タ	マス	タ	マセン	タ		タ	ナイ	タ	ウ	ヨウ			ナサイ	テ	テクダサイ	テチョウダイ	テゴラン	ナイデ	連用形止	テ	テカラ	カラ	ケド	シ	タカラ	タケド	タリ	マシテ	マスカラ	ナイカラ	ナイケド	ナカッタカラ	タイ	ナガラ	ニ	ナラ	バ	テハ(チャ)	ト	タラ	ナクチャ	ナイト	ナイナラ	ナキャ	マスト	テモ	テイイ	ナクテモ	ナクテイイ	ソウ(ニ、ナ、ダ)	ソウダッタ	デショウ	ノデショ(ウ)	タデショ(ウ)	ナイデショ(ウ)	ダロウ	ノダロウ	ノデス	ナイデス	ノダ	タンダ	ノ(が)	タノ(が)	ツテ(タ)コトアル	タコトナイ	タトキアル	タトキナイ	タリスル	タクナル	ソウニナル	ナイトオモッタ	タカモシレナイ
2;0	◎	○	○										○					○																																																									
2;1	⊚	○	○										○					○					あ○	○																																								○												
2;2	△	◎	○	○					○	○			○	○		○		○				○		○					○								○							○																				○	○											
2;3	◎	○	○				○		○	○								○		○				○																			○													○									○												
2;4	○	○	○	○	○				○	○				○	○	○		○	○		○			○															○					○																				○												
2;5	○	○	○	○	○					○								○						○					○		○			○					○					○				○																		○										
2;6	⊚	◎	○	○	○	○	○		○		○			○	○			◎					○	○	○	○		○	○								○				○			○						○(テモイイ)		○				○					○					○										
2;7	○	◎	○	○	○		○		○	○				○	○			◎	○					⊚		○		○	○								○		○				○	○						○	○		○			○		○								○										
2;8	○	◎	◎	○	○	○			○	○			○	○		○	○	◎	○	○	○	○		⊚	○	○		○	○								○		○		○			○				○								○						○				○									○	
2;9	○	○	○		○				○		○		○	○	○			◎		○	○	○		◎		○			○								○					○		○				○								○										○		○								
2;10	◎	○	◎						○	○				○	○	○	○	◎		○	◎			◎	○	○	○		○												○	○	○	○	○			○		○						○	○							○		○										
2;11	◎	○	◎	○					○	○	○			○	○			⊚	○		○		○	◎		○			○												○			○												○								○		○	○									○
((3;0))	△	◎	◎	○	○	○			○	○			○	○	○	○		△	○	○	○	○		◎	○	○	○	○	○		○		○	○			○	○	○	○	○			○		○	○				○			○		◎				○				○		◎		○								
3;0	○	○	○	○	○	○			○	○			○	○	○			◎						○					○			○					○			○		○	○	○					○	○				○		○	○					○						○			○					
3;1	○	○	○		○	○			○	○				○	○	○		○	○		◎			◎		○			○										○		○		○	○						○				○		○					○	○	○	○						○						
3;2	◎	○	◎	○	○				○	○			○				○	○			○		○	○	○	○	○		○		○			○		○		○					○	○		○										○								○				○						○		
3;3	◎	○	◎	○	○				○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○			◎	○	○	○			○				○			○		○				○	○		○				○	○			○	○		○				○	○		◎		○		○				○				
3;4	○	○	○	○	○				○	○	○		○				○	○	○		○	○		◎		○			○				○				○				○	○		○						○	○			○		○			○			○	○	○		○			○							
3;5	○	○	○		○				○					○		○		◎	○		○			◎		○		○	○						○						○	○	○	○						○	○			○	○	○								○	○	○			○				○			
計	1542	1010	312	27	69	18	4		83	59	5		28	62	43	11	7	964	33	13	79	7	1	508	4	23	6	7	56	1	11	1	3	5	1	1	14	4	25	2	19	10	10	71	1	3	1	14	1	24	5	1	1	14	2	41	4	1	1	1	3	11	2	35	2	24	3	13	3	1	1	1	1	1	2	1
5378	2982								147				133			18		1096					1	627													14	29		132										31				67								50				27		24								
100.00	55.45								2.73				2.47			0.33		20.38					0.02	11.66													0.26	0.54		2.45										0.58				1.25								0.93				0.50		0.45								

のくっついたものを単語とみた。」

ちょうど一幼児の話しことばの資料が1歳から4歳まで整ったので，それを用いて，高橋太郎氏の要望に答え，個人の習得過程を動詞下接語の部分に限り，しかも2歳から3歳前半まで追ってみることにした。紙面の都合もあり表としてまとめたので，筆者なりのまとめ方になってしまった[3]。

筆者が動詞の下接語としたのは，終助詞部分を除いたところである。終助詞は文を成立させる上できわめて重要な部分であるが，動詞にくっつけると複雑になるので，ここでは省いた。「するかどうか ((3；0))」「あるかどうか (3；3)」なども問題があるが，前の「か」以下を終助詞として扱った。接続助詞の終助詞的使用もあるが，これらは接続助詞とした。その他，副助詞「だけ (2；3)」「まで (3；4)」「やら ((3；0))」のついた動詞，比喩をあらわす「みたい (2；3)」「ように (2；4)」などのついた動詞はその部分をのぞき，終止形として扱い，問題が残るが，ここでは取りあげなかった。以下に動詞下接語として，動詞の活用とアスペクト（「て」のつく形式を取りあげた。〔付〕参照），やりもらい，ボイスを扱うことにする。

(1) 動詞の活用

表5はT児が使用した動詞の活用形の種類と年月齢毎の使用回数をみたものである。活用形の種類は注(3)で述べたように，終止形，修飾形，意志形，命令形，依頼形，中止形，接続形，願望形，副詞形，仮定・条件形，ゆずり形，推量形，断定形，名詞形，結合形である。年月齢には，1か月間に1回以上，10回以上，20回以上，30回以上使用した動詞がある場合は，○，◎，◎，△を記入して，多く使用する語のあることを知る手がかりにした。総計として2歳から3歳前半までの使用回数（パーセント）をあげた。

動詞は，終止形の形のままで使用することが多く，50％以上を占めている。そのあとに終助詞「か」「ね」「よ」「の」などがつく形が多いが，ここでは終助詞を問題にしないことを前に述べた。また，上昇イントネーションにより疑問の「か」と同義にもなるわけであるが，ここではこれも無視した。以下にT児の動詞の活用形式についてこの表からわかることを述べる。

動詞によって初出が異なるがここでは活用形式のみを問題にした。

① タ形の否定形，ていねいの否定形の初出はふつう形の否定形よりもおくれる。

② ていねいの否定形（タ形）「～ませんでした」は使用しない。これは年長児（5；5～6；6）[4]も使用していない。

③ 修飾形ではていねい形，否定形（タ形）は使用しない。ふつう形は初出2歳2で以後ずっと使用する。

④ 意志形は「う」2歳，「よう」2歳2，それにていねい形「～ましょう」は2歳4で，ともにわりによく使用している。

⑤ 依頼形の「て」（上昇調）の使用は，2歳初出で，終止形についでよく使用。ていねいの「～てごらん」も2歳8以後よく使っている。（「～てください」を『幼形態』では，「やりもらい形」に入れているが，ここでは「ちょうだい」とともにここに入れた。）

⑥ 中止形の使用は少ない。読みものの模倣で「タニヲ　ウメ，タイラナトコロ～（3；2）」の「埋め，」のみ使用。

⑦ 接続形の「て」の使用も依頼形についで多いが，初出は2歳1，接続形としては「から」の使用が次いで多く，「けど」の逆接助詞の初出は2歳10とおそい。これは，これまでの調査からも解明されているところである[5]。

⑧ ていねいの接続形は「まして」「ますから」と，ともに3歳である。「たり」「し」の例示形の使用は2歳5，2歳6で使用数も少ない。

⑨ 副詞形「（買い）に」は2歳4。「（飲み）ながら」は《3；0》。

⑩ 仮定・条件形では「たら」が2歳2とはやく，「ば（2；6）」「ちゃ（2；9）」「なら《3；0》」とおくれる。否定形では「なきゃ（2；5）」を使っている。「なくちゃ（2；10）」「ないと《3；0》」などはおそい。

⑪ ゆずり形では「ても」を「テモイイ（2；6）」の形式で，わりに使う。否定形「ナクテモ」は少ない。

⑫ 推量形では，疑問の形で「でしょ？」の形をよく使う。「～そう（2；8）」も使っている。「だろう」の初出は2；6，《3；0》で使用数も少ない。

表6　アスペクト

〔注〕　○＝1回以上　　◎＝10回以上　　⊚＝20回以上　　△＝30回以上使用の語があるの意　　あ＝文意あいまい　　×＝ダブリ

終止形（1）

年月齢	テ(イ)ル ふつう	テ(イ)ル ふつう タ	テ(イ)ル ていねい マス	テ(イ)ル ていねい タ	テ(イ)ル 否定 ナイ	テ(イ)ル 否定 タ	テクル ふつう	テクル ふつう タ	テクル ていねい マス	テクル ていねい タ	テクル 否定 ナイ	テクル 否定 タ	テアル ふつう	テアル ふつう タ	テアル ていねい マス	テアル ていねい タ	テアル 否定 ナイ	テアル 否定 タ	テオク(トク) ふつう	テオク(トク) ふつう タ	テオク(トク) ていねい マス	テオク(トク) ていねい タ	テオク(トク) 否定 ナイ	テオク(トク) 否定 タ
2;0																								
2;1																								
2;2	○	○			○		○	○											○					
2;3	○	○			○		○	○																
2;4	○	○					○	○																
2;5	○	○					○	○					○						○					
2;6	⊚	○			○		○	○					⊚	○						○				
2;7	○	○	○		○		○	○	○			○	○							○				
2;8	⊚	○			○	○	○	○					○	○	○				○	○				
2;9	○	◎			○		○	○				•	◎	○					○					
2;10	○	○	○		○	○	○	○	○				○											
2;11	○	○			○	○	○	○					○	○					○					
((3;0))	⊚	○	○		○		○	○			○		○	○					○	○				
3;0	⊚	○	○		○	○	○	○	○	○			○						○	○				
3;1	○	○	○		○	○	○	○	○				○	○							○			
3;2	○	○	○		○		○						○											
3;3	○	○			○		○	○					○						○					
3;4	○	○	○		○		○	○	○				○						○					
3;5	○	○			○		○	○	○				○						○					
計	606	135	27		57	7	63	63	9	1	2	1	94	7	1				14	7	4			
1760	832						139						102						25					
100.02	47.27						7.90						5.80						1.42					

終止形（2）・名詞形

年月齢	チャウ ふつう	チャウ ふつう タ	チャウ ていねい マス	チャウ ていねい タ	チャウ 否定 ナイ	チャウ 否定 タ	テイク ふつう	テイク ふつう タ	テイク ていねい マス	テイク ていねい タ	テイク 否定 ナイ	テイク 否定 タ	テミル ふつう	テミル ふつう タ	テミル ていねい マス	テミル ていねい タ	テミル 否定 ナイ	テミル 否定 タ	名詞形 テルノ	名詞形 テタノ	名詞形 テナイノ
2;0		○																			
2;1		○					○														
2;2	○	○					○														
2;3	○	○						○					○								
2;4	○	○																			
2;5		○																			
2;6	○	○					○										○		○		○
2;7		○					○	○												○	
2;8	○	○					○		○				○				○				
2;9	○	○					○												○		
2;10	○	○					○						○								
2;11	○	○					○						○								
((3;0))	○	○					○	○					○						○		
3;0	○	○					○						○								○
3;1	○	○						○													
3;2	○	○							○		○										
3;3	○	○											○								
3;4	○	○					○	○												○	
3;5	○	○			○		○														
計	92	163			1		52	7	3		1		18	1			4		4	3	3
1760	256						63						23						10		
100.02	14.55						3.58						1.31						0.57		

修飾形・願望形・意志形・命令形

年月齢	修飾形 テル	テル タ	テル ナイ	テクル	テクル タ	テアル	テアル タ	トク	トク タ	チャウ	チャウ タ	テイク	テイク タ	テミル	テミル タ	願望形 テミタイ	意志形(ふつう) トコウ	チャオウ	テイコウ	テイヨウ	テコヨウ	テミヨウ	意志形(ていねい) テ(イ)マショウ	テキマショウ	トキマショウ	テミマショウ	命令形(ていねい) トキナサイ	テラッシャイ
2;0																												
2;1																												
2;2	○																											
2;3	○																											
2;4													○															
2;5																												
2;6	○																				○					○		
2;7	○																		○						○			○
2;8	○																○					○		○				
2;9	○																					○				○		○
2;10	○									○						○												
2;11	○																○	○										
((3;0))	○	○		○					○		○							○	○	○			○		○	○		
3;0																										○		
3;1	○		○									○						○			○				○			
3;2	○	○				○	○																					
3;3	○				○							○										○						
3;4	○																	○			○						○	
3;5	○																○											
計	42	3	1	1	1	1	1		1	1	1	3	1			1	5	4	5	1	4	3	2	1	5	7	1	2
1760	57															1	37										3	
100.02	3.24															0.06	2.10										0.17	

依頼形・接続形

年月齢	依頼形(ふつう) テ(イ)テ	テキテ	トイテ	チャッテ	テイッテ	テミテ	依頼形(ていねい) テテゴラン	テテクダサイ	テキテクダサイ	テミテゴラン	接続形(ふつう) テ(イ)テ	テキテ	テアッテ	チャッテ	テ(イ)ッテ	テ(イ)ルカラ	テアルカラ	テクルカラ	チャウカラ	テルケド	テ(イ)クノニ	テルシ	テタカラ	テキタカラ	チャッタカラ	接続形(て) テマスカラ	接続形(否) テナイカラ
2;0																											
2;1	○																										
2;2																○									○		
2;3																○											
2;4	○										○							○									
2;5				○														○									
2;6	○	○				○									○	○		○				○					
2;7	○																				あ○			○			
2;8	○										○					○								○	○		
2;9	○	○			○	○					○	○			○	○		○									
2;10	○	○								○										○			○				
2;11	○	○	○		○		○					○			○				○						○		
((3;0))	○	○	○	○		○					○	○		○	○	○								○			
3;0	○				○	○									○	○			○						○		○
3;1	○		○				○							○		○									○	○	
3;2	○			○	○									○	○										○		
3;3	○						○	○				○	○				○								○		
3;4	◎	○		○			◎	○	○			○				○			○				○			○	○
3;5	○					○			○																		
計	38	6	3	4	4	9	14	4	2	2	7	6	3	3	6	11	1	4	4	1	1	1	2	4	13	3	2
1760	86										72																
100.02	4.89										4.09																

仮定・条件形・ゆずり形・推量形・断定形・結合形

年月齢	仮定・条件形(ふつう) テイレバ	テイタラ	テキタラ	トイタラ	チャッタラ	テイッタラ	仮定・条件形(否) テコナキャ	テイカナキャ	テミナキャ	ゆずり形 テテモイイ	テキテモイイ	推量形 テルンデショ	テタデショ	チャッタデショ	断定形 テルンデス	テルンダ	テクルンダ	断定形(否) テナイデス	結合形 チャッテル	テイッテル	テイッチャッタ	テテミテゴラン	タクナッチャウ	(タ)クナッチャッタ	イカレチャッタ	テイカレチャッタ	テコラレナイカラ	テルカモシレナイ	チャウカモシレナイ	イッテキタンデス
2;0																														
2;1																														
2;2		○																												
2;3																					○									
2;4		○															○													
2;5		○										○																		
2;6			○							○						○														
2;7		○		○		○															○				×○					
2;8		○						○				○																		
2;9																														
2;10							○							○										○						
2;11							○																	○						
((3;0))									○			○											○	○						
3;0												○			○			○		○									○	○
3;1			○						○				○						○									○		
3;2	○																				○									
3;3																														
3;4		○																				○				×○	×○			
3;5											○										○			○						
計	1	6	2	1	2	1	3	2	5	1	1	4	1	1	1	1	1	1	1	1	4	2	1	4	1	1	1	1	1	1
1760	23									2		6			4				19											
100.02	1.31									0.11		0.34			0.23				1.08											

⒀ 断定形では「のです」(11回) より「のだ」(36回) をよく使っている。T児は3歳3ごろから男友だちと遊ぶようになったからだろうか。

⒁ 名詞形，いわゆる準体助詞のつく形式は2歳5初出でよく使う。但し否定形「ナイノが」「ナカッタノが」はなかった。

⒂ 結合形が出るのはおくれる。「～ことある」(2；9)，「～ことない」(3；4) その他で，使用数も少ない。

⒃ 母親のまねをしてていねいの言い方「ございます」を使い，一時期次のようにまちがえる。「タベルゴザイマス((3；0))」「スルデゴザイマス((3；0))」「ハゲテルゴザイマスカラ ((3；0))」。

(2) アスペクト

表6は，T児が使用したアスペクトの種類及び活用形式の種類をあげ，年月齢毎に，動詞の活用の項で述べた方法に順じて，初出，使用回数をみたものである。アスペクトの種類としては，持続の意をあらわす「て(い) る」，ちかづきをあらわす「てくる」，結果をあらわす「てある」，処置をあらわす「ておく(とく)」，終結をあらわす「ちゃう」，とおのきをあらわす「て (い) く」，実現をあらわす「てみる」が使用されている[6]。この中では，「て (い) る」を一番多く使用していて，次は，「ちやった」「て (い) た」「てある」「ちゃう」「てくる」「てきた」「てない」「ていく」それに，「てる＋体言」，「て(い)て」の依頼形と続いている。

初出では，「ちやった」が2歳とはやく，おくれるのは，「て (い) る」「ていく」「とく」「てある」「てくる」のていねい形，「てくる」「ちゃう」「ていく」の否定形などで，動詞の活用（表5）でのあらわれかたと似ている。T児はアスペクトの初出がこれまでの個人の縦断調査の結果と比較するとおそい。「デキチャッタ (1；7)」初出の幼児もいる[7]。

(3) やりもらい形

やりもらい形としては，「てあげる」「てもらう」「てくれる」「てやる」を用いている。表7からもわかるように，この中では初出は「てもらう」形がはやく，「てくれる」形は「てあげる」の意でまちがって使用している。ま

た，『幼形態』に出ていない「てあげます」「てくれます」のていねい形の使用があった。

T児の使用例をあげてみる。正しく使用して初出もはやい「てもらう」形は「オトウシャンニ　コレ　アケテモラッタノ (2；4)」，「カワリバンコニシテモラオウカナ (2；4)」，「コン　ナカニ　ハイッテ　トッテモラッタノ (2；7)」などで，使用回数は，この四種の形式の中で11回と少ないが正しく使用している。使用回数が36回と多い「てあげる」の例は，「ムイテアゲタノ (2；6)」「ドレモ　カシテアゲナイ (2；9)」「テツダッテアゲル (2；11)」と出，文章あいまい誤用は2例だけで，「ターチャン　コレ　オモチャニ　スルカラ　カシテアゲタノ？ ((3；0))」と，「てくれた」の意で用いたのがみられたのみだった。使用回数が19回の「てくれる」は，読みものからの模倣で「ワタシテクレマス (2；4)」及び命令形の「カメラ　トッテクレ (3；1)」あるいは，「ターチャンニ　モッテキテクレタノ？ ((3；0))」「アソンデクレマスカ (3；4)」「ドシテ　クロイ　アンコ　イレテクレタノ？(3；5)」などの形式では正しく使用できたが（9回），他は「てあげる」の意で8回使用している。誤用の例をあげる。

「テツダッテクレル」「ターチャン　モッテッテクレルノ」(2；11)

「ターチャンガ　イレテクレル」(3；1)

「ターチャン　アケテクレル」(3；3) など。

「てやる」については12回使用，初出はT児はおそい。「ターチャン　コレ　キセテヤッテ ((3；0))」の「着せてくれ」の誤用は一例あるが，「ネカセテヤッテ」「プーサンニ(人形)　ワンピース　キセテヤッテ ((3；0))」と正しく使用している。依頼形の使用がほとんどである。後の二例は使役動詞＋やりもらい形である。（成人が「くれる」と「やる」を区別せず，全部「くれる」と用いる山形，鹿児島などの地方もある。）

「くれる」の誤用が多い原因は，親の用いることばをそのまま模倣するからで，親が「手伝ってくれる？」とか「Tちゃん戸を開けてくれる？」と聞くので，自分が使う時「あげる」に変換しないで，親と同じ言い方をする

表 7　やりもらい形・ボイス　　〔注〕＊＝誤用　も＝模倣　あ＝文章あいまい　×＝ダブリ

年月齢	やりもらい形																										可能形																	受身形			使役形					
	(テ)アゲル												(テ)モラウ				(テ)クレル							(テ)ヤル			レル								ラレル									レル			セル			サセル		
	ふつう		ていねい		否定		～ナサイ	～テ	～マショウ	～ト	テッテアゲマスカラ	タゲテル	ふつう		～オウ	テキテモラウ	ふつう		ていねい		～テクレ	テッテクレル	テキテクレル	～テ	～ナイ	サシテヤッタ	ふつう		ていねい		否定		～ケド	～チャッタ	ふつう		ていねい		否定		～チャウ	～ヨウニ	テコラレナイ	ふつう		テイクレチャッタラ	ふつう		シ(セ)テ	サシ(セ)テ	サシテクダサイ	サシテヤッタ
	ル	タ	マス	タ	ナイ	タ							ウ	タ			ル	タ	マス	タ								タ	マス	タ	ナイ	タ				タ	マス	タ	ナイ	タ					タ			タ				
2；0																																																				
2；1																																			1 チュケレル																	
2；2																																																				
2；3																											1												1 シメレナイ													
2；4														1	2				も1									あ1																								
2；5																																																				
2；6		1																																	1														1			
2；7														1																				×1															1			
2；8												1												あ1																												
2；9					1											1																			2																	
2；10																																			2						1								1			
2；11	1																＊2					＊1									1																1	2				
((3；0))	2	＊1 1							2					1	1		＊2						2	6		×2									1				3			1			1				2	2		×2
3；0	2									あ1				1	1																								1													
3；1			2										2				＊1	＊1			3		1																												1	
3；2	5																																																			
3；3	2										1						＊1	あ1									2						1				1															
3；4	3		3		1		2												1																1								×1		も1	×1						
3；5	1あ 1							1	1								1						1	2	1						1				2													1		1		
計	17	3	5		2		2	1	3	1	1	1	2	4	4	1	7	2	2		3	1	4	9	1	×2	3	1			2		1	×1	10		1		5		1	1	×1		2	×1	1	3	5	3	1	×2
123	36												11				19							12			27																	3			15					
100.00	29.27												8.94				15.45							9.76			21.95																	2.43			12.20					

のではないかと，疑問形は正しく使用していることから推察されるのである[9]。

(4) ボイス

表7からわかることは，可能形の「れる」「られる」をよく使い，ついで使役形の「せる」「させる」，受身形はほとんど使用していない3回である。可能形では「られる」形を，「チュケレル」「シメレナイ」と2歳初期に「れる」形で用い，のち，母親の訂正によってか，母親の用い方でか「チュケラレル (2；6) (2；10)」と使用して計19回あった。「れる」形では，「オフロ　アカチャン　ハイレル (2；3)」が最初の使用で8回使用。使役形は，「ハカシテ (2；6) (2；7) (2；10)」「ハシラセル」「ハシラセタ」(2；11)，「オリサシテ」「食ベサシテヤッタ」((3；0)) など15回あった。「オイテイカレチャッタラ (3；4)」などの受身＋アスペクトの結合形は初出がおそい。3歳誕生日一日調査の資料から多く採集されているのに特色がある。受身形の例としては，「コナイダ　ドウシテ　カゼ　ヒクノッテ　イワレタノ ((3；0))」と，歌の模倣で「クジラニ　ノマレタ (3；4)」の3例であった。

(5) 「いく」「する」の用例

動詞の中で使用回数の面で1，2位にある「する」と「いく」の用例を，表5，表6，表7にあてはめ，初出年齢，使用回数をみるとどうなるかを，実例編として述べておく。〔 〕の中は，T児が他の動詞で用いた下接語の形式ではあるが，「いく」「する」の動詞では使用しなかったというもの。( ) の中は使用した終助詞や体言である。「いく」「する」の順序で表にして述べる。

〔付〕「て」形式については，金田一春彦編『日本語動詞のアスペクト』(むぎ書房，1976) の中の吉川武時「現代日本語動詞のアスペクトの研究」(155～323P) も参考にした。

幼児のアスペクトの発達については，3歳前半までにはほとんど習得して誤用も少ないが，2歳前後の習得初期には「て（い）る」とするところを「き（着）た」「もって」ですませている例がある。

① 「いく」「する」動詞の活用形式

	い く			す る		
	例	初出年齢	回数	例	初出年齢	回数
終止形	イク（ワ，ヨ，ゾ，ノ，ノネ，ノヨ，ノカナ）	2；0	122	スル（ヨ，ワ，カナ，ノ，ノヨ，ネ，ゾ，ノカ）	2；0	223
	イッタ（ネ，ノ，ヨ，カナ，ッテ，カ）	2；2	67	シタ（ヨ，ネ，ノ，カナ，ノネ，ッテ，ノカナ）	2；0	89
	イカナイ（ノ，ネ，ノネ）	2；0	21	シナイ（ヨ，ネ，ノ）	2；2	11
	〔ナカッタ〕			シナカッタ（ノ）	2；2	6
	イキマス（ヨ）	2；8	10	シマス	2；4	3
	イキマシタ	((3；0))	1			
	〔イキマセン〕					
修飾形	イク（トコ）	2；10	6	スル（マエ）	2；9	7
	イッタ（トキ）	2；9	9	シタ（トキ）	2；4	9
	イカナイ（トキ）	3；4	1			
意志形	イコウ（カ）	2；0	10			
				シヨウ（ヨ，カ，カナ，ット）	2；1	37
	イキマショウ（ネ，カ）	2；4	9	シマショウ	2；4	4
命令形	イケ	2；4	7			
	イキナサイ	3；3	2			
依頼形	イッテ	2；6	87	シテ（ヨ）	2；1	109
	〔テナサイ〕					
	イッテクダサイ	3；1	3	シテクダサイ	3；3	3
	〔テチョウダイ〕					
	イッテゴラン	3；3	7	シテゴラン	2；8	7

	イカナイデ	3;5	1	シナイデ	2;8	1
中止形	〔連用形止〕					
接続形	イッテ（ネ）	2;3	60	シテ（ネ）	2;2	41
	〔テカラ〕			シテカラ	2;2	1
	イクカラ	2;8	4	スルカラ	2;9	5
	イクケレド	3;2	1	スルケド（ネ）	((3;0))	1
	〔シ〕					
	イッタカラ	2;7	1	シタカラ	2;7	6
	〔タケド〕			シタケド	3;3	1
	〔タリ〕			シタリ	((3;0))	2
	〔マシテ〕					
	〔マスカラ〕			シマスカラ（ネ）	3;1	1
	〔ナイカラ〕					
	〔ナイケド〕					
	〔ナカッタカラ〕			シナカッタカラ	3;2	1
願望形	イキタイ	2;9	1	シタイ	((3;0))	2
副詞形	〔ナガラ〕					
	〔ニ〕			（シュウリ）シニ……（イカナキャ）	2;8	1
仮定・	〔ナラ〕					
	イケバ〔イイ，アル〕	2;10	5	スレバ	2;10	4
	イッチャ〔イケナイ，グメ〕	2;9	4			
	イクト	2;10	1	スルト	2;9	3
	イッタラ（ネ）	2;3	8	シタラ（ネ）	2;5	9

	い く			す る		
	例	初出年齢	回数	例	初出年齢	回数
条件形	〔ナクチャ〕					
	イカナイト	3；3	1			
	〔ナイナラ〕					
	イカナキャ	2；8	2	シナキャ（ネ）	2；10	2
	〔マスト〕					
ゆずり形	イッテモ（イイ）	3；4	2	シテモ（イイ）	2；6	1
	〔テイイ〕					
	〔ナクテモ〕					
	〔ナクテイイ〕					
推量形	〔ソウ（ニ，ナ，ダ）〕					
	〔ソウダッタ〕					
	イクデショ	2；6	4	スルデショ	3；4	1
	イクンデショ	2；10	1			
	イッタデショ	2；9	1	シタデショ	2；7	1
	〔ナイデショ〕			シナイデショ	3；4	1
	〔ダロウ〕					
	イクンダロウ	2；6	1			
断定形	イクンデス（カ）	3；1	1	シタンデス（カ，ヨ，ッテ）	3；1	3
	〔ナイデス〕					
	イクンダ（ッテ）	3；5	1	スルンダ（ッテ）	2；1	4
	〔タンダ〕			シタンダ（ヨ）	2；2	2

名詞形	〔ノが〕 〔タノが〕					
結合形	イッタコトアル	3;3	1	スルッテコトアルヨ	3;3	1
	イッタコトナイ（ヨ）	3;5	2			
	イッタトキナイ	3;0	1			
	イッタリスル	3;3	1			
	〔タクナル〕					
	イキソウニナル（ジャナイ）	3;2	1			
	〔ナイトオモッタ〕					
	〔タカモシレナイ〕					

② 「いく」「する」のアスペクトの活用形式

	い く			す る		
	例	初出年齢	回数	例	初出年齢	回数
終止	イッテル（ノ，カ，ヨ）	2;2	9	シテル（ノ，カ，ヨ，カナ）	2;2	83
	イッテタ（ノ）	2;8	3	シテタ（ネ，ジャナイ，ノ）	2;6	14
	イッテナイ（ノ）	2;8	2	シテナイ	2;2	1
	〔ナカッタ〕					
	イッテクル（ノ）	2;10	5	シテクル（ネ）	2;3	3
	〔テキタ〕			シテキタ（ノ）	2;6	1
	〔テコナイ〕			シテコナイ	((3;0))	2
	〔テコナカッタ〕					
	イッテキマス	2;9	2			
	〔テキマシタ〕					

	い　く			す　る		
	例	初出年齢	回数	例	初出年齢	回数
形	〔テアル〕			シテアル（ノ）	3；3	3
	〔テアッタ〕					
	〔テアリマス〕					
	〔テオク(トク)〕			シトク，シテオク（ノ）	2；8	3
	〔テオイタ(トイタ)〕					
	〔テオキマス〕					
	イッチャウ（ナ）	2；7	3	シチャウ（ノ）	2；2	1
	イッチャッタ（ノ，ゾ，カナ）	2；2	23	シチャッタ（ノ，ヨ）	2；7	8
	〔テイク〕					
	〔テイッタ〕					
	〔テイキマシタ〕					
	〔テイカナイ〕					
	イッテミル	2；3	5	シテミル（カ）	3；0	2
	イッテミナイ	2；6	4			
修飾	イッテル（トキ）	2；7	1	シテル（トコロ，トキ，アカチャン）	2；8	6
	〔テタ〕					
	〔テナイ〕					
	〔テクル〕					
	〔テキタ〕					
	〔テアル〕					
	〔テアッタ〕					
	〔トイタ，トク〕					

形	〔チャウ〕					
	〔チャッタ〕					
	〔テイク〕					
	〔テイッタ〕					
意志形	〔トコウ〕			シトコウ（カ）	2；11	1
	〔チャオウ〕					
	〔テイコウ〕					
	〔テコヨウ〕					
	〔テミヨウ〕					
	〔テマショウ〕					
	〔テキマショウ〕					
	〔トキマショウ〕					
	イッテミマショウ（ネ）	2；6	3			
命令形	〔トキナサイ〕					
	〔テラッシャイ〕					
依頼形	イッテテ	2；9	1	シテテ	2；11	1
	〔テキテ〕					
	〔トイテ〕					
	〔チャッテ〕					
	〔テイッテ〕			シテイッテ	3；2	1
	イッテミテ	3；0	1	シテミテ	2；8	1
	〔テテゴラン〕					
	〔テテクダサイ〕					
	〔テキテクダサイ〕					
	〔テミテゴラン〕					

	い　く			す　る		
	例	初出年齢	回数	例	初出年齢	回数
中止形	〔連用形止〕					
接続形	〔テテ〕					
	〔テキテ〕					
	〔テアッテ〕					
	〔チャッテ〕					
	〔テイッテ〕					
	〔テルカラ〕			シテルカラ	2;2	3
	〔テアルカラ〕					
	イッテクルカラ（ネ）	2;9	1	シテクルカラ	2;4	1
	イッチャウカラ	2;7	1			
	〔テルケド〕					
	〔テクノニ〕					
	〔テルシ〕					
	〔テクカラ〕			シテタカラ	3;2	1
	〔テキタカラ〕					
	〔チャッタカラ〕			シチャッタカラ	2;8	1
	〔テマスカラ〕					
	〔テナイカラ〕					
願望形	〔テミタイ〕					

仮定・条件形	〔テイレバ〕 〔テイタラ〕 〔テキタラ〕 〔トイタラ〕 イッチャッタラ 〔テイッタラ〕 〔テコナキャ〕 〔テイカナキャ〕 〔テミナキャ〕	2;7	1	シテイタラ	2;3	1
ゆずり形	〔テテモイイ〕 〔テキテモイイ〕					
推量形	〔テルンデショ〕 〔テタデショ〕 〔チャッタデショ〕			シテル(ン)デショ	((3;0))	2
断定形	〔テルンデス〕 〔テルンダ〕 〔テクルンダ〕 〔テナイデス〕			シテルンデス（カ） シテルンダ（ッテ，ケドネ） シテクルンダ（ッテ） シテナイデス	3;0 2;6 2;3 3;0	2 2 1 1
名詞形	〔テルノが〕 〔テタノが〕 〔テナイノが〕			シテルノを（ミテルノ）	3;0	1

	い　く			す　る		
	例	初出年齢	回数	例	初出年齢	回数
結合形	〔チャッテル〕					
	〔テイッテル〕					
	〔テイッチャッタ〕					
	〔テテミテゴラン〕					
	〔タクナッチャウ〕					
	〔タクナッチャッタ〕					
	イカレチャッタ	2;7	1			
	〔テイカレチャッタラ〕					
	〔テコラレナイカラ〕					
	〔テルカモシレナイ〕					
	〔チャウカモシレナイ〕					
	イッテキタンデス（カ）	3;1	1			

③ 「いく」「する」のやりもらい形・ボイスの活用形式

	い　く			す　る		
	例	初出年齢	回数	例	初出年齢	回数
やり	〔テアゲル〕			シテアゲル（シタゲル）	3;2	4
	〔テアゲタ〕					
	〔テアゲマス〕					
	〔テアゲナイ〕					
	〔テアゲナサイ〕			シテアゲナサイ	3;4	2

もらい形	〔テアゲテ〕					
	〔テアゲマショウ〕					
	〔テアゲルト〕					
	〔テッテアゲマスカラ〕					
	〔タゲテル〕					
	〔テモラウ〕			シテモラウ（ノ）	3；1	2
	〔テモラッタ〕					
	〔テモラオウ〕			シテモラオウ（ナ，カナ）	2；4	2
	〔テキテモラウ〕					
	〔テクレル〕			シテクレル*（してあげるの意）	((3；0))	2
	〔テクレタ〕					
	〔テクレマス〕					
	〔テクレ〕					
	〔テッテクレル〕					
	〔テキテクレル〕					
	〔テヤッテ〕			シテヤッテ	3；5	1
	〔テヤラナイ〕					
	〔サシテヤッタ〕					
可	イカレル（ヨ）	3；3	3			
	〔レタ〕					
	イカレナイ（ネ）	2；11	2			
	〔レルケド〕					
	〔レチャッタ〕					

	い　く			す　る		
	例	初出年齢	回数	例	初出年齢	回数
能形	〔ラレル〕 〔ラレタ〕 〔ラレマス〕 〔ラレナイ〕 〔ラレチャウ〕 〔ラレルヨウニ〕 〔テコラレナイ〕					
受身形	〔レル〕 〔レタ〕 〔テイカレチャッタラ〕					
使役形	〔セル〕 〔シタ〕 〔シ(セ)テ〕 〔サシ(セ)テ〕 〔サシテクダサイ〕 〔サシテヤッタ〕					

4. おわりに

2歳を過ぎると，動詞以下の部分の初出（この『資料』の中での初出であり，使用回数も同様であることはいうまでもない）がおくれていた幼児も，その部分の表現ができてくる。T児では，アスペクトの部分で多用される「て（い）る」の初出が2歳2とおくれているが，それでも2歳8から多用してきて，3歳前半までには，300語以上の動詞をさまざまな形式で使用するようになってきているのである。全く使用しなかったのは，推量の助動詞「らしい」である[10]。その他，ボイスのうち受身形が少ないこと，「てくれる」を「てあげる」の意で，3歳近くまで使用していること，「ていない」や「否定形」が「ふつう形」よりおくれることなどがみられた。『幼形態』の中の「くみたて動詞」(148P）で年少児に出なかった形態はやはりT児にも出なかったのが多い。たとえば，「(よむ）ことができる」「(よむ）ことになる」「(よむ）ようになる」は出ないが「アヤチャン　ドッカ　イキソウニ　ナルンジャナイ　(3；2)」を用いているなどがみられた。その他，「(よま）ないときがある」などの否定形は用いていないのである。

次に，まだあげなかったT児の誤った使用例をあげ，検討しなければならない問題は山積しているが一応のまとめとする。

① 共通語では，「ある」は無生物，「いる」は生物の存在をあらわすが（紀伊半島では「ある」で生物の存在をあらわす），それをT児は「イロンナ　ネコガ　アルネ　(2；11)」と言う場合もあった。「イッパイ　ムシ　イルヨ　(3；9)」とも使っているので不安定というところか。T児は車に興味を持っていたが，おもちゃの車に対して「いる」を用いるのがめだった。

「クルマ　イル　(2；1)」「キイロ　ジドウシャ　ココ　イルノ　(2；1)」「アソコニ　パトカーガ　イルヨ　(2；6)」「ムカシハ　コウイウ　カガクシャガ　イタノ？　(2；11)」「ショウボウジドウシャモ　イルヨ《(3；0)》」

「ある」を使用した例もないわけではないが少ない。「ジドウシャ　ココアル　(2；1)」「キュウキュウシャ　アッタ　(2；6)」など。

② 「くる」を「いく」の意で使う例が共通語を用いる幼児にも見られるが（岐阜県高山地方ではおとなが使用するという），T児の4歳の一日調査にも見られた（この研究の資料外）。「マッテテ　スグ　クルカラ《4；0》」[11]

③ 否定の助動詞「ない」が動詞の未然形につかない例。かっこの中が正しい。「アショビナイノ〔あそばない〕(2；2)」「タレバナイノ，タレビナイノ〔食べないの発音がむずかしいのか〕(2；1)」

④ ボイス関係の語の使用は少ないが，誤用もある。

㋑ 可能動詞の否定形の場合に「られ」を余分につける例[12]。「けせない」を「ケセラレナイ《3；0》」，「かめない」を「カメラレナイ (3；1)」その他，「のせられない」を「ノラナイ (2；2)」と使用した。

㋺ 使役動詞の「おろして」を「イシュニ　オリサシテ《3；0》」と上一段動詞「おりる」に使役の助動詞「させる」を用いて，むずかしく言う。使役の助動詞を学習したためか。「みがいて」を「ミガケセテ《4；0》」の例もあった。

誤用は，3歳以前より，かえってその後に見られる。獲得した語を，親の模倣でなく，自分から使おうとするからであろうか。習得過程で幼児なりの論理を働かせるためであろうか。誤用には，日本語を学んでいる外国人がよく誤まるものや，方言地区で用いられている歴史的に古い形（国研報告30-2『日本言語地図』）であることは興味深い。

〔注〕

(1) これまでの幼児の語彙調査などから言えるのである。特に「食べる」は10位以上のところにある。大久保愛『幼児言語の発達』（東京堂出版，65p，昭和42年。その他，「幼児語」（講座『日本語の語彙1　語彙原論』178p，明治書院，昭和57年）

(2) 「行く」は「イクー (1；7)」，「ある」は「アッタ (1；0)」，「乗る」は「ノンノ (1；7)」，「居る」は「イタ，イナイ (1；1)」，「来る」は「キタ (1；11)」，「取る」は「トッテ (1；10)」の形式で2歳以前に用いている。幼児語の「ねんね」「だっこ」「おんり」「たっち」などは，T児の調査では初出は2歳前であるがここでは動詞として取りあげなかった。2歳一日調査での動詞のあらわれ方は，「幼児の使用語と語の意味の理解――満2歳当日の一日調査から――」（国研報

告65「研究報告集２」昭和55年）で次のように表にしてある。

動詞の使用語と用例および回数

	語	回数	用　例　な　ど
①	アゲル	1	風呂場で母に桶を「アゲル」母「ありがとう」
②	アル(アッタ)	22	「アッタ　アッタ」「フタ　ナイ　アッタ」
③	イウ(言ワナイ)	1	「イワナイ　グウニュウ（牛乳のこと)」
④	イク(行)	26	「イッチョ　イク」「オトンチャン　イコウ」
⑤	イル(居)	24	「イル(太陽)」「シロ(馬)　イタ」「イタ(ＴＶに人形が出たら)」「オトンチャン　イナイネ」
⑥	オク(置)	1	「コレ　オクノ」
⑦	カク(書イテ)	1	「コッチニ　カイテ(要求)」
⑧	キル(着タ)	1	「キタ　キタ」
⑨	クル(来タ)	5	「アカイ　ブーブー　キタ」「オウドン　キタ」
⑩	タベル	1	「タブル（それを食べるの意)」
⑪	ドケル	1	母が腰を掛けようとしたら「ドケ」
⑫	トル(取ッテ)	25	「アマイ　パン　トッテ(要求)」「ドア　トッテ（開けての意で)」
⑬	ノム(飲)	1	母「お水のむ？」に対して「ノム」
⑭	マツ(待ッテ)	1	「マッテッテ(要求)」
⑮	ミエル(見)	5	母「見えたって？」に対して子「ミエタ」 せんたくばさみ，人形などが「ミエナイ」
⑯	ミル	2	母「見る？」に対して子「ミル　ミル」「ミロイロ　タクシー　ミタ」
⑰	ムク(向)	2	「ムク　ムク」はっきりしない
⑱	モツ(持)	4	「モッテ(持ってくれの意)」「モッテ（自分がおもちゃをもっているの意)」
18		124	

(3) 『幼形態』では，「言いおわり形」とし，その下位形（ムード）に，伝達形（断定形，推量形)，意志形，命令形，依頼形をたてているが，ここではこのうちの断定形を「終止形」とし，あとの形式を終止形と同レベルに扱った。また，「中止形」として第一，第二，その他，「条件―ゆずり形」として，条件とゆずり形を下位として分けているが，前者を，中止形と接続形とに分け，後者は分けないで，仮定・条件形とゆずり形の二種とした。その他，願望形をつくり，断定形を「だ」「です」のついた形式の称とした。「くみたて動詞」は結合形の名前で用いた。これら形式には，ふつう・ていねい形があり，その各々がまた，ふつう・否定形に分けられ，夫々を，ふつう形，タ形，ナイ形，マス形に分けた。

(4) 「“よみませんでした”がひとつもなかったことは，あるいは，ひとつの特徴と

いえるかもしれない」(『幼形態』20p)

(5) たとえば，大久保愛『幼児言語の発達』(前出) の中の「助詞の発達」(81～109P) では，「から (1；11)」，「けど (2；5)」と初出があがっている。

(6) これら動作の過程をあらわすことばは，『幼形態』15～16Pによる。

(7) 幼児言語学シリーズ，F・C・パン，堀素子編『言語習得の諸相』(文化評論出版 昭和56年) の中の堀口純子「年少児のアスペクト」(166～183P) 大久保愛「言語習得の方略——名詞型と動詞型——」(77p～89p)

(8) 上野田鶴子ほか「幼児期における授受構文の理解に関する実験的研究」(1978，日本音響学会) 3歳から6歳までの66名の実験的調査の結果によると，授受動詞アゲル(A)，クレル(K)，モラウ(M) の発達的傾向は A＞K≫M という。T児の場合は初出から見ると M＞A≫K でKがおくれている。実験結果とちがっているのである。

堀口純子「年少児の受給表現」(F・C・パン他編『ことばの発達』文化評論出版 70，71p) では，長男H児の2歳から14か月間の917の用例を細かく分析報告している。①「(て)あげる」を「(て)あげる」の意で使用しているのは87.6%，「(て)くれる」の意では9.9%，その他は2.5% ②「(て)くれる」を「(て)あげる」の意に用いたのは43.3%，「(て)くれる」の意で用いたのは54%，「(て)もらう」0.7%，その他2.0% ③「(て)もらう」は，「(て)もらう」の意では64.3%，「(て)あげる」の意では16.3%，その他19.4%となっている。そして次のように言う。"「(て)あげる」が一番安定していて，二番目が「(て)もらう」で，「(て)くれる」は半数近くが他の意味に使われているわけである。一番安定している「(て)あげる」の場合には，話者と主語と行為者が一致する。「(て)もらう」は話者と主語が一致し，行為者が一致しない。「(て)くれる」は話者が主語とも行為者とも一致しない。このことから，受給表現のむずかしさは，話者と文の主語と行為者との関係と関連があると考える" と言うことで，習得のやさしさはA＞M≫Kのようである。

(9) 『幼児言語の発達』(27p) では，可能形「タベラレル，タベラレナイ(2；11)」，使役形「カブラセテ (2；9)」「オリサセテ (2；3)」，受身形「オコラレル(2；5)」「キラワレルノ (2；6)」などがみられた。使役形と可能形に誤用もあった。

(10) 『幼児言語の発達』135p

(11) 上野田鶴子ほか「往来動詞文の理解の発達に関する実験的研究」(1979，日本音響学会) 幼稚園児および小学校1～6年，計191名を対象にしての実験。これによると，小学校低学年までは「クル」の理解が「イク」に先行するように見えるが，基本的には「イク」，「クル」の順に習得され，完全な理解は小学校高学年を待たねばならないということである。

(12) 「幼児言語の発達』146p

別表　T児の使用した動詞〔注〕上の数は2歳期の使用数で《3；0》を含む，下の数は3歳前半の使用数　●＝初出

年月＼動詞	あがる	あく(開)	あける(開)	あげる(上に)	あげる(物を)	あそぶ	あたる	あったまる	あっためる	あふれる	あらう	ある	あるく	あるける	いう(言)	いえる	いく(行)	行ける	いじる	いそぐ	いたす	いやがる	要る	居る	入れる	植える	うごかす	うごきだす	動く	うごける	うたう	うつる(映)
数	6	30	37	1	13	33		4			29	293	13	2	236	6	399	2	2	1	2		73	106	106	5	1	1	33		21	2
2；0												●					●						●	●	●							
1		●										○					○						○	○								
2		○	●			●						○	●		●		○	●					○	○	○						●	
3												○			○	●	○							○	○						○	
4		○	○		●							○			○		○		●						○				●			
5	●											○			○		○						○	○	○							
6	○	○	○		○	○					●	○	○		○	○	○							○	○			疑●	○		○	●
7			○		○	○					○	○	○		○	○	○							○	○				○		○	
8		○	○		○	○						○	○		○	○	○		○					○	○	●			○			
9		○				○						○			○		○							○	○	○			○			
10		○	○		○	○					○	○			○		○						○	○	○	○			○		○	
11	○	○	○		○	○						○			○		○						○	○	○	○	●		○			
《3；0》		○	○	●	○	○		●			○	○		●	○	○	○			●	●		○	○	○				○		○	
3；0		○	○		○	○					○	○	○		○		○								○				○		○	
1		○	○		○	○						○			○		○						○	○	○				○	●	○	
2	○		○		○	○				●	○	○		○	○		○		○				○	○	○							
3		○	○		○	○	●					○	○		○		○						○	○	○					○	○	○
4			○			○						○			○		○			○		●	○						○			
5	○	○	○	○	○	○			●		○	○			○	○	○							○	○				○			
教	2	8	33	1	17	18	1		1	2	6	68	3	1	193	1	141		1	1		1	25	19	14				12	4	7	1

動詞 / 年月	うまれる	うめる	うる(売)	おいかける	おきる	おく(置)	おくる(送)	おこす	おさえる	おしえる	おす(押)	おちる	おっこちる	おっことす	おどかす	おとす	おぼえる	おぼれる	おもう	およぐ	おりる	おる(折)	おれる	おろす	おわる	買う	帰る	変える	買える	掛かる	書く	かく(掻)
数	4		4		23	19	2	1	3	66	6	16	1	2		3	1	3	5	3	26	2	7	1	7	100	16	5		10	69	
2;0																										●ち						
1						●					●	●										●	●		●	○					●	
2						○						○									●					○						
3														●							○					○		●				
4					●		●			●																○					○	
5						○						○								●						○				●	○	
6			●		○	○						○				●					○				○	○	●			○	○	
7						○					○			○				●	●		○			●ち		○	○				○	
8	●				○	○		●ち		○		○							○	○	○				○	○	○				○	
9					○	○				○							●						○		○	○	○				○	
10						○			●	○	○	○						○					○			○	○				○	
11	○		○							○	○	○									○	○				○	○	○			○	
((3;0))	○					○	○			○		○	●						○		○		○		○	○					○	
3;0	○		○		○		○			○		○			●				○		○					○	○	○			○	
1			○			○				○		○	○									○				○	○		●		○	
2		●ょ			○	○				○	○	○				○				○						○	○				○	
3				●	○					○	○	○				○									○	○	○				○	
4					○	○				○											○					○	○				○	
5	○					○				○	○	○	○							○	○					○	○				○	●
数	2	1	7	1	5	16	2			37	7	5	2		2	3			1	5	7	1			2	38	17	1	1		24	1

年月＼動詞	かくす	かけつける	書ける	掛ける	かざる	かじる	貸す	かぞえる	かたづける	かぶせる	かぶる	かむ	かめる	かりとる	かわく	かわる	かんがえる	がんばる	きかえる	きがきく	聞く	きこえる	着せる	決める	着る	切る	切れる	くさる	くださる	くっつく	くっつける	くもる
数	3	7	1	23		3	18		5	1	2	9			1	1	2		2		6	5	3	2	32	18		2		2	1	6
2；0																										●						
1																										○						
2																						●			●					●		●
3				●																					○	○						
4				○																					○							
5				○																												
6				○			●		●												●				○	○						○
7									○			●									○			●	○	○						
8	●						○				●					●も			●			○		○		○					●	
9							○																		○							○
10	○			○		●				●も					●										○							○
11			●	○							○										○					○		●				
((3；0))		●		○		○	○		○			○					●				○	○	●		○	○		○				○
3；0				○			○								○															○		
1				○	●		○					○	●		○						○							○	タダサイ ●			
2				○			○							●よ											○							
3	○				○		○					○									○	○										
4				○			○								○				○	●も												
5			○	○			○	●							○		○	●				○			○		●					
数	1		1	20	4		15	1				7	1	1	7		2	1	3	1	5	2			2		1	1	8	1		

年月＼動詞	くらべる	くる(来)	くれる	けす	けずる	ける	ござる	こしかける	こたえる	こぼす	こぼれる	こまる	ころがる	ころぶ	こわす	こわれる	さがす	咲く	さす	さめる	さわる	しかける	しく	しくじる	しずむ	しぬ	しまう	しめる	しゅうりする	しらべる	しる	すく(空)
数	1	88		12	1	1	9	1		11	1	1		1	9	29	9	3	5	1	20	2	2	7	1	8	13	10	4	1	132	1
2；0		●																														
1		○																					●									
2		○													●	●															●	
3		○																					○					●			○	
4		○		●												○					●										○	
5		○														○				●	○										○	
6		○		○						●						○			●		○					●	●	○			○	
7		○			●お	●		●		○				●		○	●										○				○	
8	●も	○		○						○	●				○	○					○				●も		○		●		○	
9										○											○					○					○	
10		○		○											○			●	○		○					○	○	○			○	
11		○													○	○	○													●	○	
((3；0))		○		○			●ゴザイマス			○		●			○	○	○	○	○		○	●		●シチダノヲ			○	○			○	●
3；0															○	○	○				○						○				○	○
1															○	○					○						○				○	
2		○		○									●	○	○		○				○						○	○			○	
3		○											○		○	○	○									○	○			○	○	
4		○		○					●	○						○												○			○	
5	○	○	●							○	○			○	○		○				○						○					
数	1	20	2	4					1	2	3		2	2	16	25	8				15					1	6	4		1	32	1

年月＼動詞	すてる	すべる	すます	済む	住む	すりへる	する	すれちがう	すわる	そる(剃)	たおす	たおれる	たがやす	だく	だす	たすける	だせる	たたく	たたむ	たつ(立)	立てる	経つ	たべすぎる	たべる	たれる	ちがう	ちる	つかう	つかまえる	つかまる	つかれる	つく(付)
数	6			2			580	2	17		2	4	2	1	33	1	2	3	4	7	1	1	1	188	1	38	1	5	4	5	2	48
2;0							●		●															●(トレブ)								
1							○								●									○		●						
2							○								○									○		○						●
3				●			○																									○
4							○													●						○						
5							○		○															○								
6	●						○		○						○			●						○		○				●		○
7	○						○		○					●	○	●								○		○	●			○		○
8							○				●	●			○									○		○				○	●	○
9							○	●										○						○		○		●				○
10							○				○				○					○			●	○				○	●			
11							○					○	●						●	○				○	●			○				○
((3;0))							○		○			○			○		●			○	●	●		○		○			○	○		○
3;0	○						○					○			○	○								○		○				○		
1	○						○								○	○								○		○				○		○
2	○						○		○						○									○								○
3	○	●	●(疑)	○	●		○								○								○	○		○		○				○
4	○					●	○			●					○			○		○				○		○		○				○
5							○								○									○		○						○
数	7	1	1	1	1	1	183		1	1		1			15	4		2		1			1	39		19		2		3		20

年月＼動詞	突く	つくる	つくれる	つける	つつむ	つながる	つなぐ	つぶす	つぶる	つぶれる	つまる	積む	つめこむ	つもる	つれる(連)	できる	てつだう	てらす	でる	とおる	とおれる	とかす(梳)	とがる	どく	とける(雪が溶)	どける	とどく	とびおりる	とぶ	とべる	とまる(止)	泊まる
数	1	32		58	5	1	2	1	3	2	1	6		3	9	42	7		46	12		1	1	5	5	2	5	1	9	1	18	
2;0																			●													
1				●																												
2				○															○	●									●		●	
3																				○									○			
4		●		○	●											●			○								●				○	
5				○												○			○												○	
6		○		○					●						●	○			○	○					●	●					○	
7		○		○		●									○				○			●		●	○		○	●	○			
8		○		○					○	●					○	○	●		○				●	○			○				○	
9																○			○					○							○	
10		○		○	○		●									○			○	○				○			○		○		○	
11		○		○							●	●		●	○	○	○		○					○					○		○	
((3;0))	●	○		○			○	●		○		○			○	○	○		○	○						○			○	●	○	
3;0		○		○			○									○			○		●								○		○	
1		○		○					○	○																			○	○	○	
2		○		○	○								●			○		●	○													
3		○		○						○						○			○	○	○											
4		○	●	○				○								○			○					○		○	○		○	○		●
5		○		○												○									○						○	
数		19	1	26	2		1	1	18	3			1			19		2	10	3	2			1	2	1	1		10	4	3	1

年月＼動詞	とめる	とりあげる	とりかえる	とる	とれる	なおす	なおる（きずなどが）	ながれる	なく	なくす	なくなる	なげる	なめる	ならう	鳴らす	ならぶ	ならべる	鳴る	成る	成れる	にげる	似る	ぬう	ぬぐ	ぬげる	ぬる	濡れる	ねかす	ねじる	ねる	のける	のこる	のせる
数	5		2	78	8	16	15	2	28	3	14	1	6		3	25	33		165		1	2	1	7	1	13	7	7		31	1	1	15
2；0				●	●																									●			
1				○	○																			●						○			
2				○	○	●	●		●										●											○			
3				○					○		●								○														
4				○												●			○											○			
5				○					○							○														○			●
6				○		○			○		○		●		●	○	●		○						●		●	●				●	
7	●			○		○			○		○					○	○		○														○
8	○			○			○		○	●	○					○	○		○							●	○	○		○			○
9				○		○			○						○	○	○		○				●	○									○
10		●	●	○		○	○		○				○			○			○								○			○			○
11				○		○	○	●	○				○						○								○			○			○
《3；0》	○	○	○	○	○	○	○		○		○	●	○		○		○		○		●	●		○		○	○	○		○	●		○
3；0				○		○													○	●		○				○				○			○
1						○	○					○				○	○		○							○	○			○			○
2					○	○		○	○										○											○			
3		○							○			○		●				●	○														
4	○			○		○	○				○	○							○					○		○	○			○			○
5						○			○		○					○			○		○						○		●	○			
数	1	2		2	1	9	5	1	11		6	3		1		2	6	5	75	1	1	2		1		8	3		1	16			8

年月＼動詞	のばす	のびる	のぼる	のます	のみこむ	のみすぎる	のむ	のる(載)	乗る	乗れる	はいる	はいれる	生える	はがす	はかる	はがれる	はく(穿)	はける(穿)	はげる	はこぶ	はこべる	はさむ	はじまる	はしる	はずす	はずむ	はずれる	離す	払う	はる	ひかる	ひきずる
数	1	3	6		3	1	63		91	2	81		1	2	3		13	1	2	11		2	1	22	2	2	5	4		22		
2；0							●		●																							
1							○		○																					●		
2							○		○		●													●								
3							○		○		○						●															
4									○								○										●					
5									○		○						○										○	●				
6					●		○		○		○			●			○	●		●				○		●疑				○		
7							○		○		○						○															
8			●			●	○		○		○		●				○			○				○	●			○		○		
9							○		○		○									○				○				○				
10		●	○				○		○	●	○				●		○			○		●						○		○		
11					○		○		○		○						○			○				○						○		
((3；0))	●	○			○		○		○	○	○			○	○		○		●	○		○	●	○	○		○			○		
3；0		○	○				○		○		○						○			○				○					●			
1			○				○		○	○	○		○							○												
2			○					●	○		○	●								○				○							●	
3									○		○	○															○					
4			○				○		○	○	○			○		●													○			
5				●			○		○		○										●											●
数		2	8	1			13	1	38	2	22	4	2	1		1	2			6	1			9			1		3		1	1

年月＼動詞	ひく(風邪)	ひっかかる	ひっかく	ひっこむ	ひっつける	ひっぱる	ひろう	ふえる	ふかす(むかす意)	拭く	ぶつかる	ふむ	ぶらさげる	降る	ぶんかいする	ほす	ほる	まがる	まく(撒く)	まぜる	まちがう	まちがえる	待つ	まわす	まわる	みえる	みがく	みせる	みつかる	みつける	みる	むかう	向く
数	1	2		2		2	1		1	10	15	3	1	1		2	1	4		2		1	29	4	18	32	5	17	2		157	6	1
2；0										●																							
1										○						●							●								●		
2																		●								●		●					
3						●								●									○		●			○			○		
4																									○	○		○			○		
5										○																○		○					
6							●				●												○		○	○	●	○			○		
7		●									○					○		○					○		○	○			●		○		
8										○	○	●						○				●	○			○		○			○		
9																							○	●	○						○		
10				●		○					○	○						○					○		○	○	○	○			○	●	
11											○												○			○	○	○			○		
((3；0))	●			○					●		○		●				●			●			○	○	○	○	○	○	○		○	○	●
3；0	○		●							○	○							○				○			○	○		○			○		○
1										○	○			○	●								○	○	○	○					○		○
2																			●	○				○	○	○					○		
3											○							○			●		○			○					○		
4														○				○					○		○	○	○	○		●	○		○
5					●	○		●															○		○	○		○			○		
数	1		2		1	4		1		2	4			2	1			9	1	1	1	1	5	3	9	13	2	6		2	99		3

年月＼動詞	むく(剝)	向ける	もえる	もぐる	もちあげる	もつ	もどす	もどる	もらう	焼く	焼ける	やすむ	やっつける	やぶける	やぶる	やぶれる	やむ	やめる	やらす	やられる	やる	ゆれる	よごれる	よぶ	よむ	よめる	よろこぶ	わかる	わすれる	わたす	わたる	わらう	われる
数	13		9	1	10	100	1	9	32	4	1	7		1	2	7	1	8			180		4	2	162	28	1	18	7	3	3	6	6
2；0																																	
1						●																											
2						○			●	●											●				●			●		●		●	
3						○															○				○								
4						○															○				○					○			
5						○		●	○												○			●	○				●				
6	●					○		○	○							●					○				○	●					●	○	●
7	○			●	●	○			○						●						○				○	○	●	○	○			○	○
8			●			○			○		●	●				○	●				○				○	○		○					○
9						○	●					○									○		●	○	○	○							
10			○		○	○			○	○								●			○				○	○		○		○	○		
11	○					○												○			○				○			○	○		○	○	
((3；0))	○		○		○	○			○	○				●	○	○		○			○		○		○	○		○	○				○
3；0						○												○			○		○		○								
1						○										○					○				○			○	○				
2			○			○											○				○	●	○		○			○			○		
3						○															○							○	○				
4		●			○	○				○		○						○										○	○				○
5				○		○		○	○				●		○				●	●	○				○			○	○				
数		1	2	2	1	40		1	1	3		1	1		1	1	1	2	1	1	78	1	2		19			20	5		1		1